

本時のねらい

・材料を安全に切削するために、切削の基礎知識を理解し、安全に実習することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・動画で作業の説明をすることで、各自の進行状況や理解度に合わせて、実習を行うことができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Microsoft Teams ・タブレット端末

本時の展開（全11時間計画：6時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあての確認する ○「切削」について説明する ・使用道具（木工用やすり、ドレッサ）や機械（ベルトサンタ）の安全な扱いについて説明する。 	
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○木材のけがき、切断、切削を行う ・使用する道具の名称、使い方については各自が動画で確認する。 ・動画で確認したことをふまえ、順次グループで実習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画の掲載場所を板書しておくことで、各自が必要に応じて自由に閲覧できるように配慮する。 ・単元中の作業全ての動画をあらかじめ掲載しておくことで、予定よりも早く作業を終えた生徒が予習することができる。 ・音声と字幕の両方を使うことにより、作業の音に左右されず動画が有効活用できるようにしている。 ・動画を複数で視聴させることで、お互いの理解度を高めあうことができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付け、振り返りを記入する ・安全を意識して、道具等をもとの場所に戻す。 ・切削の工程への理解、安全に実習できたかについて振り返りする。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1: けがきの作業について個人で確認し、線の意味や名称について学んでいる場面



写真2: 切断の作業をするメンバーが、動画で確認しながら学んでいる場面



写真3: 切削の道具である木工用やすりの使い方を二人で話しながら確認している場面

児童生徒の反応や変容

- ・子ども同士で話しあい、主体的に課題にとりくむ様子が見られた。特に動画の中で説明されていたポイントに対して、同じチーム内のメンバーで確認し合い、納得してから作業に入る生徒が増えた。
- ・動画での説明のため、自分が確認したい場面を何度も再生し、理解しようと粘り強く取り組む姿がみられた。
- ・「家でも動画見てきたよ」「次の作業の動画見たから、早くやりたい」といった、授業に対する前向きな発言を聞くことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・動画の作成は1本1時間程度でできるため、夏季休業中などに事前準備しておいた。作業の音で動画の音声が聞こえにくくなるため、字幕は必須だと感じた。
- ・実習室に無線LANがない場合は、大型モニターなどを用意し、HDMIケーブルなどでPCを1台繋いで自由に閲覧させることもできる。
- ・実習中に教員が自由に動ける時間が増えるため、支援が必要な生徒や、機械使用時の安全確保、一人ひとりの実習の様子を確認を今まで以上にきめ細かに行うことができる。
- ・動画の説明のほうが理解しやすい生徒が多く、実技の向上による製作品の質の向上にもつながる。